



お取引先とともに

ADEKAグループでは、お客様へ価値ある製品の提供により、豊かなくらしを目指すことがお取引先を含むサプライチェーン全体で共通の目的であると認識しています。互いに公正で公平な関係を構築・維持することで、共存共栄を目指します。

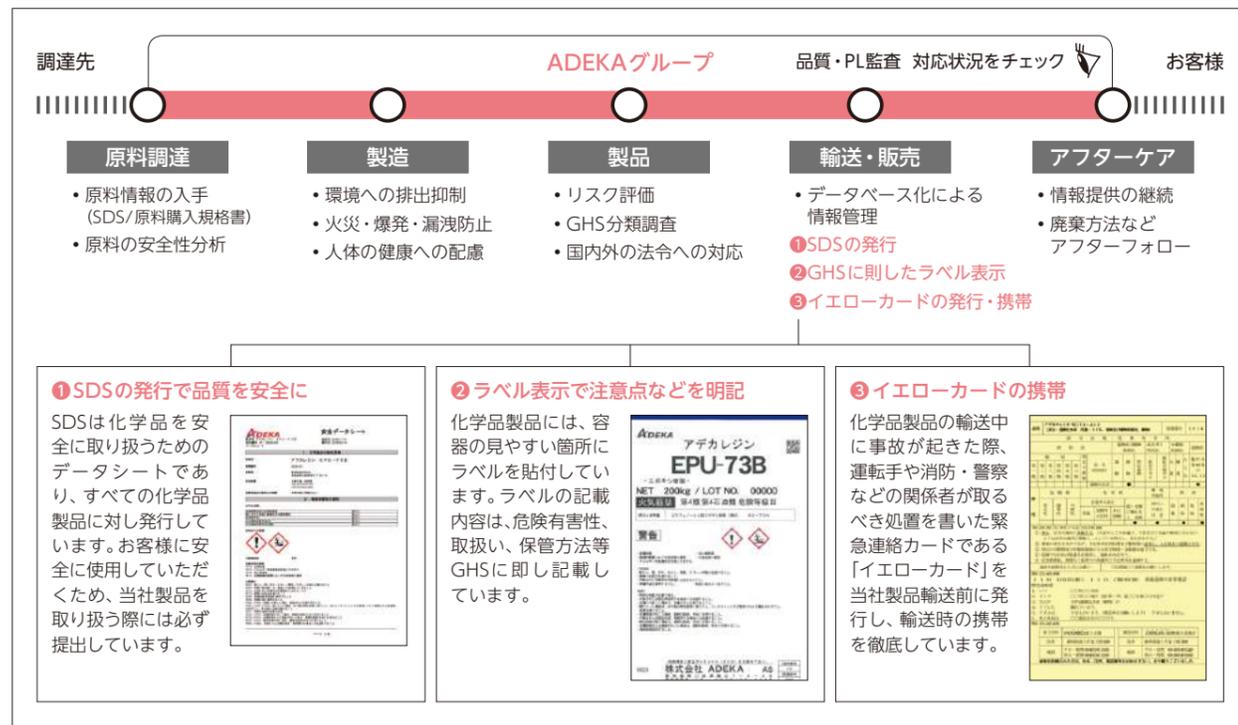
サプライチェーン体制の構築

● 安定した原料調達

当社は「購買管理基準」に基づき、お取引先との信頼と連携による調達活動を展開しています。2018年度には、さらなる安定調達と、CSRに立脚

した持続可能なサプライチェーンの構築を目指し、購買管理基準の改定や購買ポリシーの策定・公開を計画しています。安定して製品を供給するための適正な在庫管理を徹底するだけでなく、調達先での当社製品に使用する原料の在庫保持や、複数購買化などの取り組みをさらに強化していきます。

▶ サプライチェーン図



▶ 2017年度目標・実績 / 2018年度目標

評価：◎計画を上回る ○ほぼ計画通り △計画を下回る

項目	2017年度目標	2017年度実績	自己評価	2018年度目標
取引先管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> BCP対策の強化 取引先調査の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 複数購買化によるリスク低減 新規取引先へのコンプライアンスアンケート実施 既存取引先への隔年監査の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> 購買基本方針・ガイドラインの整備
グローバル調達体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> グローバル購買体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル連結経営管理システム(GMS)のグループ全社での稼働 	○	<ul style="list-style-type: none"> グローバル購買データの一元共有化(GMSの活用)
持続可能なパーム油調達	<ul style="list-style-type: none"> パーム油調達に関する課題対応の強化 	<ul style="list-style-type: none"> RSPO*サプライチェーン認証の取得に向けた監査の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> RSPOサプライチェーン認証の取得

* RSPO：持続可能なパーム油の生産と利用の促進を目的に設立された「持続可能なパーム油のための円卓会議(ラウンドテーブル)」

サプライチェーン管理の徹底

● 化学物質の管理

ADEKAグループは、「国際的化学品管理に関する戦略的アプローチ」(SAICM)に基づいて、人と環境に配慮し持続可能な化学物質の管理・使用を目指しています。EU、米国、アジア各国での厳格な化学物質管理に関する法規制への迅速な対応や、原材料から当社製品使用にかかる化学物質に関する細やかな情報提供を通じて、お客様が安心して製品を利用できるよう努めています。

● 食の安心・安全

ADEKAグループでは、食品素材を扱うメーカーとして、衛生管理や法令遵守はもちろんのこと、安心・安全な製品提供に努めています。グループ食品生産拠点数全体の88%において食品安全システムFSSC 22000を取得し、外・内部からの異物混入や交差汚染を未然に防ぐためにフードセーフティーとフードディフェンスの両輪で品質管理を強化しています。特に、アレルゲンを含む原料の管理やトレーサビリティシステムによる情報管理を徹底しています。

● 紛争鉱物の排除

社会との共存共栄を目指すADEKAでは、紛争鉱物(コンフリクトミネラル)を含有する原料は購入しません。含有の有無に関しては、調達先と原料個別の規格保証書を締結する際に、「環境負荷物質調査・回答書」に回答いただくことで実態把握に努めています。

● 調達先へのコンプライアンスアンケート

当社では、食品原料の調達先に対して「リスク管理基準」を配布し、新規の場合には、「コンプライアンスアンケート」の回答をお願いするなど、当社の調達ポリシーへのご理解をいただいています。

● 物流会社との安全会議

ADEKAグループは、お客様のもとへ確実かつ安全に製品を提供できる物流体制の構築を目指し、

ADEKA物流(株)をはじめとする物流協力会社が一堂に会する安全会議を年数回開催しています。会議では、発生した事故トラブルの事例を報告するとともに、「なぜなぜ分析」を用いた真因の追求と、対策の妥当性・有効性について議論を行っています。タンクローリー対象の安全会議では、漏洩事故対応の模擬訓練を行うなど、緊急時の対応力を高める取り組みも行っています。

● グローバルにおける調達体制構築の取り組み

当社グループでは、グローバルでの最適調達を目指す取り組みを進めています。グローバル連結管理システム(GMS)の運用による世界各拠点での購買データの共有化を進めるとともに、各地購買担当者が協力し、共通原料の調達の一元化や調達先情報の共有を行っています。また、化学品購買担当者の海外拠点出向を開始しており、今後は海外拠点購買スタッフの指導、育成支援、人事交流など、海外拠点との連携をさらに強化していきます。



シンガポール・マレーシア拠点と調達会議

● パートナーシップの強化

ADEKAグループは、製品をお客様へとお届けする販売代理店とともに成長し、発展していくことを目指しています。事業方針や計画などを定期的に説明する特約店会をはじめ、化学品・食品事業ともに当社および販売代理店の新入社員が商談スキルや製品知識、技術について集中的に学ぶ機会を設けるなど、企業の枠を超えて“全てはお客様のために”をモットーとした取り組みを推進しています。